

## IV まとめ

平成28年度は市内小学校34校に利用していただいた。毎年の事ながら4・5月に申込みが集中したが、各校担当者のご協力を得て調整を行い、参加34校全ての活動が無事終了することができた。この場を借りて御礼を申し上げたい。

活動のようすをみていると、教科書や資料集だけでは分からない「本物」を前にした体験や見学に子どもたちは新鮮な反応で応えてくれた。見たことや経験したことがない内容に興味や関心をもち、驚きや疑問をもつ子も。中にはこれまでの自分の学習態度まで振り返ろうとする子どももいた（事後の感想から）。

先生方からの感想も紹介したい。時代とともに変化する自然環境と人々の生活の様子を知ることができ、両施設での体験学習と施設見学を通じて歴史に対する理解・興味・関心を深めることができたこと。また、見学を通して具体的にその時代の生活を想像することができたこと。頁岩から石器を作る作業で、当時の人々の技術の高さと苦労を実感したこと。実体験を通して資料では分からない人々の生活の苦労を知り現在の生活の豊かさに気付かせることができたことなど、授業に対して満足度の高いコメントを多くいただいた。

しかしながら、改善点もある。体験や活動などが限られた時間の中で行われるため、どうしても慌しい日程になりがちである。滞在時間についてわずかでも時間を捻出し、少しでも落ち着いた学習ができるような方策が必要であった。幸い、今年度からは開始時間を30分繰り上げて、若干のゆとりを持たせて展開している。

館としても体験指導や見学の説明についても尚一層の効率的な方法を求め、努力していきたいと考えている。少しでも多くの児童の思いや考えを汲み取りながら展開していくつもりである。またこれまで同様、ボランティアの協力を得ながら、親切かつ丁寧な対応に努めていきたい。

最後に、学校側にも協力をお願いしておきたい。前年度からの引継ぎが十分でないことや子どもたちへの注意や指導が館職員に任せきりになることがあるのでご留意いただき、先生方にも積極的に関わっていただくことで、より充実した活動となるのではないかと考える。

本事業の活動を通して、教科書の内容がより深く理解され、歴史的な分野の学習だけでなく、学習全体の質的な向上に結びつくとともに、文化財に親しみ、愛護する精神を育成する契機となることを期待しているものである。